

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010200

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	幌内東町幹線及び幌内幹線道路改修事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成27年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	改修及び修繕延長		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	510m		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	【平成26年度】 ○道路改修（幌内東町幹線） L=250m、W=6.0m、片歩道W=1.5m ○実測調査 L=250m 【平成27年度】 ○舗装修繕（幌内幹線） L=260m、W=7.0m ○防護柵改修（幌内幹線）L=234m ○道路舗装（表層:幌内東町幹線～幌内幹線） L=510m、W=6.0～W=7.0m		道路改修（幌内東町幹線） L=250m、W=6.0m、片歩道W=1.5m 実測調査 L=250m	舗装修繕（幌内幹線） L=260m、W=7.0m 防護柵改修（幌内幹線）L=234m 道路舗装 （表層:幌内東町幹線～幌内幹線） L=510m、W=6.0～W=7.0m			
	事業費（千円）	53,800	0	37,000	16,800	0	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	53,800	37,000	16,800				
実 績 事 業 費	事業費（千円）	54,248	0	37,724	16,524	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	54,248	37,724	16,524				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		道路改修（幌内東町幹線） L=234.1m、W=6.0m、片歩道W=1.5m 実測調査 L=250m	舗装修繕（幌内幹線） L=263.1m、W=7.0m 防護柵改修（幌内幹線）L=230.1m 道路舗装 （表層:幌内東町幹線～幌内幹線） L=497.2m、W=6.0～W=7.0m			
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 （継続無し）	年度目標値		234.1m	263.1m		
	第6期計画への継続 （継続無し）	年度達成率	#DIV/0!	102%	98%	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	70%	101%	101%	101%	
	備考欄						

事業名	幌内東町幹線及び幌内幹線道路改修事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	山崎佳之
		評価者	作成者 職氏名	建設水道課長補佐	田原慎也

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	改修延長
【抱える課題やニーズは】	凹凸による通行障害。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	快適で安全な通行の確保。	① 改修延長/改修延長	目標年度 平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路利用者の快適で安全な通行の確保。		目標値 263.1 m
			実績値 263.1 m
			達成度 100.0 %
		②	目標年度 平成27年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し道路改修を実施した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	道路利用者の快適で安全な通行を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、快適で安全な通行が確保された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本事業を実施したことで、快適で安全な通行が確保されたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	道路環境の向上が図られたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
平成27年度事業終了		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止